

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

・子どもたちの個々の違いや月齢差がある中、一人ひとりの成長発達を見通して今をとらえ保育されていた。また、ハンディがあるないにかかわらず違いを認め合い、お互いが大切な存在である事を大切にしていた。

・保護者対応も丁寧に行い家庭のサポートを行い子どもの成長を共に喜び合っていた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

- ・乳児クラスでは発達段階を踏まえ、生活面では（食事や着替え等）自分でできることは見守り一人ひとりに必要な援助をしていた。
- ・4，5歳児クラスでは、遊びのコーナー（制作・ままごと・運動遊び等）で子ども自身が遊びを選択し満足するまで遊びこんでいた。事前準備もされ職員間の連携もとれていた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

- ・保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた情報を外部に口外することなく秘密保持を徹底している。職員対象にコンプライアンスの勉強会を行っている。
- ・玄関等保護者や来客者が目にする場所に個人情報がかかるものはない。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

- ・園への苦情ではないが、保護者間でトラブルが起きた際に必要に応じ園長が間に入り、話し合いの場所や時間の提供をして解決の方向に向かうように配慮している。
- ・近隣へのご挨拶を丁寧に行い、その際コミュニケーションを取るようにして関係性を築くように心がけている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

- ・看護師が園内を周り子どもの健康状態を把握している。
- ・感染症の情報は、事務所前の掲示版にてお知らせしている。
- ・看護師が中心に感染拡大防止を務めている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

- ・水遊びやプール遊びが始まる前に、全職員対象に AED や心肺蘇生法の勉強会を実践している。
- ・月 1 回避難訓練を実践している。その中で地域的に予想される浸水の訓練も取り入れている。
- ・事故報告を会議で行い対策を周知している。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

- ・園舎の修繕は本部に相談の上、早急に対応している。
- ・園長と主任が修理箇所を確認して、園でできることと業者に依頼するかを判断をして対応している。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

- ・園内、各クラス共に清掃が、物の整理整頓がされていた。
- ・保育室は季節感が感じられるよう工夫して装飾されていた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

- ・4, 5歳児クラスは、物の置き場所が分類されわかりやすい。
- ・1歳児低月齢クラスは柵のしきりがなくなり、子どもが過ごしやすい環境に改善されていた。年齢にあったスペースが確保でき、身体を動かして遊んだりおもちゃでじっくり遊んでいた。1歳児高月齢クラスは、低月齢クラスの環境を参考にしながら今後環境の改善を考えているとのこと楽しみである。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに会う
- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・ 一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・ 共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

- ・ 乳児クラスの子どもたちが園庭にて好きな場所で保育者や友だちと一緒に遊んだり保育者に見守られる中安心して過ごしていた。
- ・ 4, 5 歳児の食事は全員の食事の準備ができるまで待ち、お祈りといただきますをして食べ始めていた。待ち時間が長いことが感じられた。数人が用意できたら時差で食べ始めてもよいのではないかと助言させていただいた。そのようにすることで、子どもがタイムマネジメントを行い見通しを持って食事の時間を楽しめたらと思う。

【全体を通して】

- ・ 職員数が多い中、連携や共有の難しさを感じながらも、理念や大切にしたいことの根本を共有できるように園長が会議の中で少しずつ発信をしたり、個人面談を行い努力されている。また、園長と主任間では話をたくさんするようにしてクラス運営など様々なことがリアルタイムで共有されている。保育者の「やってみたい」を大事にしているため、今後ねらいや思いを言語化して共有し実践していくことが楽しみである。

評価日 2023 年 11 月 30 日

評価者 園 名 聖隷こども園桜ヶ丘

役 職 園長

氏 名 太田康子